

第23章 最近のトピックス

1. GMS 内での活用が先行する南部経済回廊

アジア開発銀行（ADB）が主導し、タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、中国の5カ国がメンバーとなって1992年に開始した大メコン圏（GMS：Greater Mekong Sub-region）地域経済協力プログラムの中で、道路の開発・改修の交通部門は重要視されてきた。1994年の第3回閣僚会議では、バンコク・プノンペン・ホーチミン間の南部経済回廊等の道路の案件リストが合意された（図表23-1）。

経済回廊の整備が進めば、タイのバンコク、ベトナムのハノイ、ホーチミンのような産業が集積する大都市間の輸送や、ラオス、カンボジア、ミャンマーへの生産拠点の移転が活性化することも期待される。JETROの調査によると、カンボジアの首都プノンペンでのワーカーの月額給与コストは82ドルと、ホーチミン（ベトナム）の130ドルやバンコク（タイ）の286ドルに比べて大幅に低い。

2013年1月時点、企業の生産拠点のシフトが最も進んでいるのは南部経済回廊（バンコク～プノンペン～ホーチミン）である。

詳細は23章3節「経済特別区の整備状況」に示すが、ベトナムとの国境に近いカンボジアのバベットでは、主に縫製企業が進出している。ベトナムは日本や米国等に衣類を輸出しているが、人件費の上昇が続いていることから、徐々に縫製企業の進出が南部経済回廊沿いに内陸へと移ってきた。カンボジアに入っても、国境に近い経済特別区に入居すれば通関手続きが簡素化されており、南部経済回廊を通してベトナムのカイメップ・チーバイ港から日本等へ商品を輸出できる。

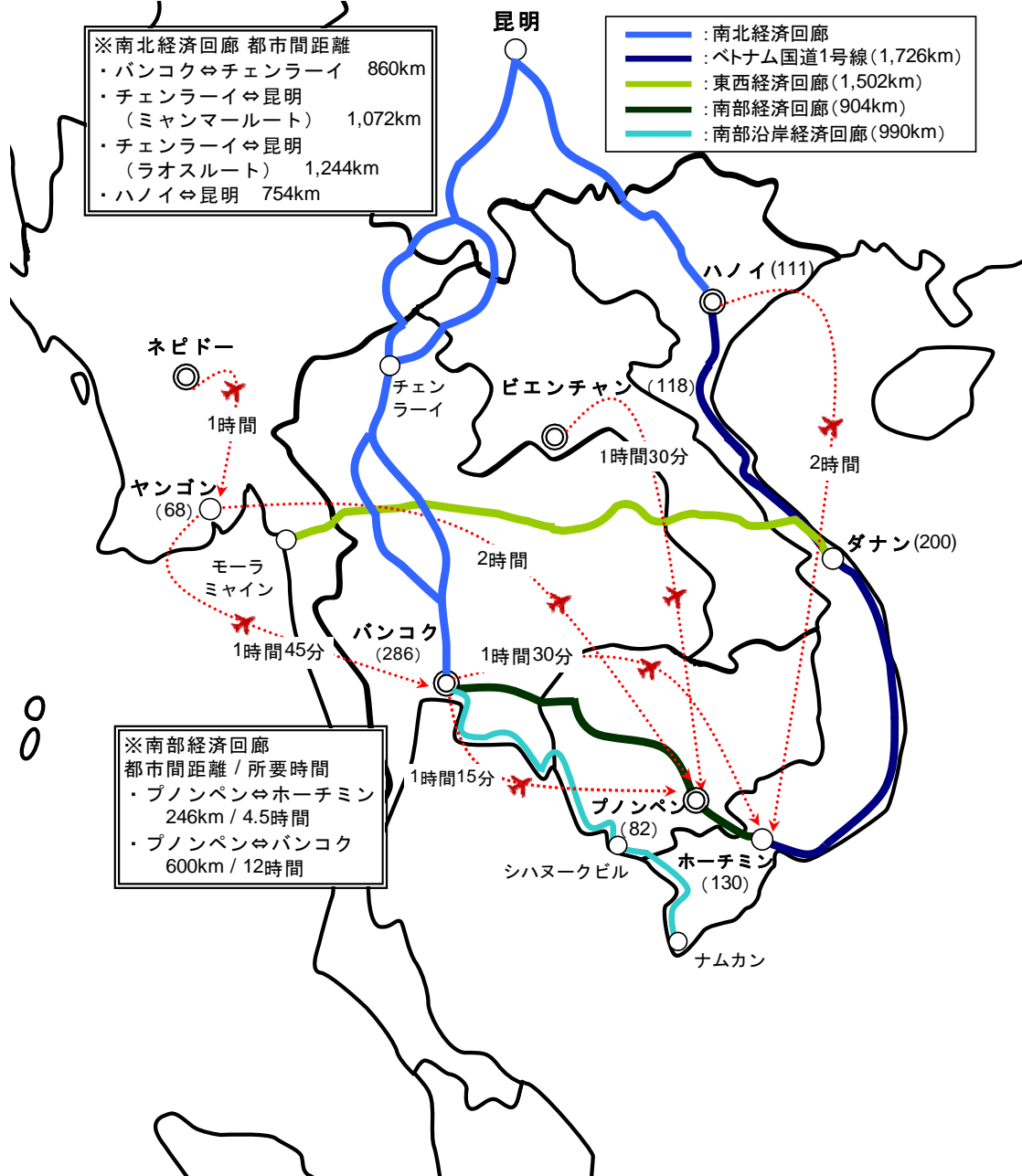
また、タイとの国境近くでは、南部経済回廊沿いのポイペトでは経済特別区の開発が遅れているが、南部のコックンでは、タイの縫製企業、日系自動車部品メーカー等が進出している。コックンからはタイのレムチャバン港（所要時間は約5時間）が利用できること、自動車産業の集積地（タイ東部）に近いことが、メリットにあげられる。

一方、カンボジア以外の国では、まだ企業の生産シフトの動きは鈍い。

ラオスでは、東西経済回廊が通るサワナケートに経済特区があるが、企業の進出ペースは遅い。また、バンコクとハノイとの間の輸送については、ハノイ向けの荷物はあるものの、バンコク向けの荷物が少なく輸送コストが高止まりしている。

ミャンマーは、ワーカーの月額給与コストがGMSの主要都市の中で最も低いが、物流インフラの未整備が大きなハードルとなっている。東西経済回廊も整備されていない。

図表 23-1 大メコン圏経済回廊と各国主要都市



(注) 都市名付近の () は、ワーカー月額賃金コスト (ドル) を示す
(出所) 各種資料より作成



(ベトナム-カンボジア国境)



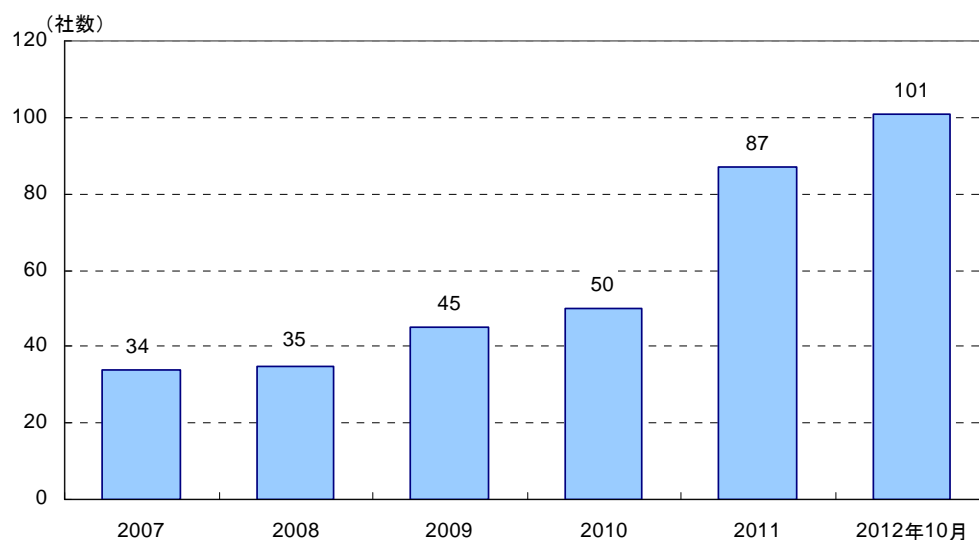
(タイ-カンボジア国境に架かる友好橋)

2. 日系企業進出ラッシュ

(1) 商工会員数の増加

カンボジア日本人商工会（Japanese Business Association of Cambodia : JBAC）の会員数が増加している。2007年時点では34社であったのに対し、2011年に87社に急増。2012年10月時点では101社に達した。この101社以外にも、カンボジアに拠点は無いがカンボジアでビジネス参画をする企業が準会員として21社が登録している。

図表 23-2 カンボジア日本人商工会員数の推移



(出所) JBAC 資料より作成

(2) 進出日系企業の傾向

中国、タイ、ベトナムの人的費高騰や労働力不足、さらに中国での対日感情の悪化に伴ってカンボジア、ラオス、ミャンマーの3カ国が注目を集めている。この3カ国内におけるカンボジアの優位点は、①治安と政情が安定している点、②政府による積極的な外資優遇政策が行われている点が挙げられる。

既にカンボジアに進出している企業の多くは他国での海外事業展開を経験しており、中国、タイ、ベトナムの拠点を補完する目的でカンボジアに進出して操業している。また、タイやベトナムに拠点を持つ企業では、隣国の拠点と協働して製造工程のなかでも電力消費量が少ない労働集約型の部分のみをカンボジアで行う企業もある。

(3) カンボジアが持っている日系企業への印象

カンボジアでは、日系企業の評判は押並べて良いようである。主な理由は、①従業員のほとんどをカンボジアで雇用し、多くの雇用を創出する点、②日本が持つ高い技術の伝播を受けられる点、③福利厚生が充実、従業員のケアが行き届いている点が挙げられる。

カンボジア政府も日系企業を誘致するため、制度面から支援を行う姿勢を見せている。2009年以降、ほぼ半年に1度の頻度で過去7回開催されている日本・カンボジア官民合同会議は、日本大使館、JBAC、カンボジア開発評議会が直接意見交換を行う会議である（詳細は、第6章「外資導入策と管轄官庁」を参照）。カンボジアの政府機関が民間企業と意見を交わす2国間の枠組みは、この日本カンボジア官民合同会議のみで、他の諸外国に比べて日本の「観点」を重要視し、参考にしていることが窺える。

3. 経済特別区の整備状況

日系企業（特に製造業）が進出する候補地として、経済特別区（Special Economic Zone：SEZ）が挙げられる。SEZに拠点を設けるとQIPで得られる優遇措置に加えて、付加価値税の免除、輸入関税の免除の措置を受けることができる（詳細は、第9章「主要投資インセンティブ」を参照）。また、SEZには行政サービスを行っているワンストップ・サービス事務所が設置しており、官公庁向けに必要な各種手続きをSEZの敷地内の施設で完了させることができる。さらに、SEZ管理事務所のなかには、規定のない「手数料」の支払いなど、カンボジア独特の習慣について、企業の代わりに対応するサービスを提供しているところもある。生産拠点を持つ場合は、インフラ整備の面でも制度の面でもSEZへ入居することによって、カンボジアの外資優遇制度やSEZ管理事務所の機能を十分に活用することができる。

SEZはカンボジア全土でみると図表23-3のように5つの地域に分布して設立されている。各地域の特徴は以下の通り。

(1) スヴァイリエン州は、南部経済回廊（国道1号線）沿いにSEZが設立されている。ベトナム国境に近く、物流面、隣国拠点との協働する場合に優位である。特に、ベトナムのホーチミンに関連企業が多いため、南部経済回廊を使えば、生地や副資材の調達も容易で、より安価に製品を生産することが可能である。（マンハッタン経済特別区、タイセン経済特別区、ドラゴンキング経済特別区）

(2) プノンペン市は、首都であるため各省庁が近く、駐在員向け居住施設も充実している。また主要大学のほとんどがプノンペン市内にあり、大学修了者の多くはプノンペンでの就職を希望していることなどから、幹部候補生確保の点でも他の地域に比べて優位である。（プノンペン経済特別区）

(3) シハヌークビル州は、港湾、鉄道、空港設備の整備が進んでいる地域ではあるが、開発途上である。今後、シヤム湾で開発中の石油生産が開始されると、関連産業の拠点として重要な地域となるであろう。（シハヌークビル経済特別区、シハヌークビル港経済特別区）

(4) コッコン州のSEZは、タイとの国境に近く、レムチャバン港の利用やタイの拠点との連携の面が優位点として挙げられる。特に、タイ東部には日系企業が多く進出してお

り同地での賃金上昇を受け、一部工程をコッコン州に移管することも期待される。(コッコン経済特別区)

(5) バンテイメンチェイ州は、南部経済回廊(国道5号線)沿いにSEZが設立されており、タイとの国境に近く、物流面、隣国拠点との協働する場合に優位である。但し、2012年11月時点ではSEZの開発が遅れていること、また、SEZが国道5号線から10分程度離れていることから、日系企業の進出はまだない。(ポイペト経済特別区)

車での所要時間は、概ね以下のとおりである。

- (1)南部経済回廊： ホーチミン → 国境(2時間) → プノンペン(2時間30分)
- (2)国道4号： プノンペン → シハヌークビル(4時間)
- (3)国道4号・48号： シハヌークビル → コッコン(3時間)
- (4)国道48号・4号： コッコン → プノンペン(4時間30分)
- (5)国道6号・5号： シェムリアップ → ポイペト(2時間) → 国境(30分)
- (6)タイ国内： 国境 → バンコク(4時間)

カンボジア開発評議会から認可を受けているSEZは全国で23カ所あるが、実際に稼働、または本格的に稼働準備に入っているSEZは8カ所に過ぎない。144頁以降に各SEZの詳細を示した。

ひとくちメモ(16)： 領収書の出ないサービスの例 ～出入国手続きにて

カンボジアは国土の東西を南部経済回廊が走っている。隣国との国境には出入国の手続きを行うイミグレーションがあるが、空路での入国に比べてカウンターの数は少なく、手続きに60分以上待たされることも珍しくないようだ。

ホーチミン(ベトナム)からカンボジアに向かうと、ベトナムのモックパイとカンボジアのパベットの間に国境がある。観光バスで国境を越える集団と一緒にしまったら、出国手続きを記入している間に、所要時間が倍以上になってしまうケースもある。現地のガイドによると、このような状況に目をつけた担当官が、「10ドルを払えば、すぐに手続きを済ませる」と、領収書の出ないサービスを提供しているようだ。実際に10ドルを数名分のパスポートと併せて現地ガイドを通じて渡すと、5分後には出国スタンプが押されたパスポートが戻ってきた。

サービスはまだ続く。出国を済ませ、今度は200-300m離れたカンボジア側のイミグレーション施設に向けてスーツケースを運ぼうとすると、「10ドルで荷物をリヤカーで運んであげよ」と持ちかけてくるスタッフがいる。試しに10ドル支払うと、仲間とともにリヤカーで荷物を運んでくれた。国境ラインを越えられないが、カンボジア側から迎えに来たリヤカーに移し替えて無事に国境ラインは通過できた。

しかし、ベトナム人のリヤカー仲間は、「カンボジア人のリヤカー仲間を使っているから、さらに10ドルが必要」と迫ってくる。太陽の照り返しと暑さに負けて10ドルを渡したのだが、これがトラブルとなってしまった。カンボジアでの入国手続きも無事終わって荷物を引き上げようとする、カンボジア人からは「俺たちはまだ何ももらっていない!」と追加料金を求められてしまった。

結局5ドルで手を打ったものの、最後までカンボジア人のスタッフは不満いっぱい、得をしたのはベトナム人のスタッフであった。ちなみに、タイとの国境近くのポイペトでは、「500バーツを支払えば今からスタンプを押す」等と言ってくることもあるようだ。当然、こちらの金額も、払ったとしても領収書は出てこない。

図表 23-3 カンボジアの経済特別区稼働地域



(注) 枠内の数値は国道番号を示す

(出所) 各種資料より作成

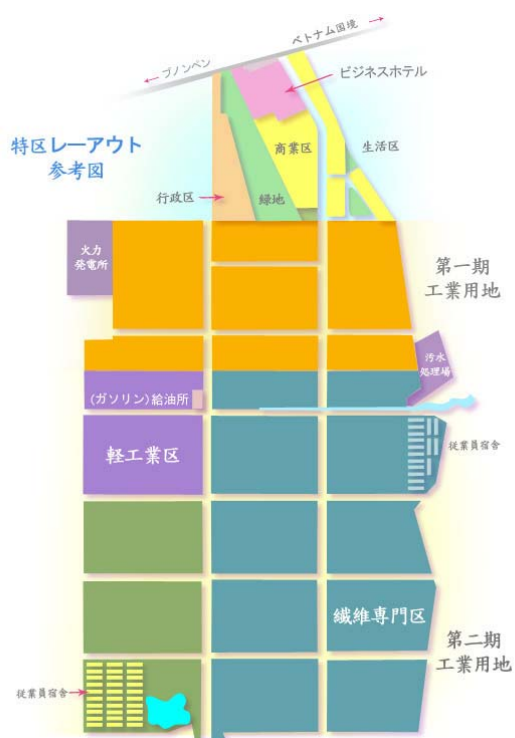


(ベトナム-カンボジア国境の様子)

(1) スヴァイリエン州

①マンハッタン経済特別区

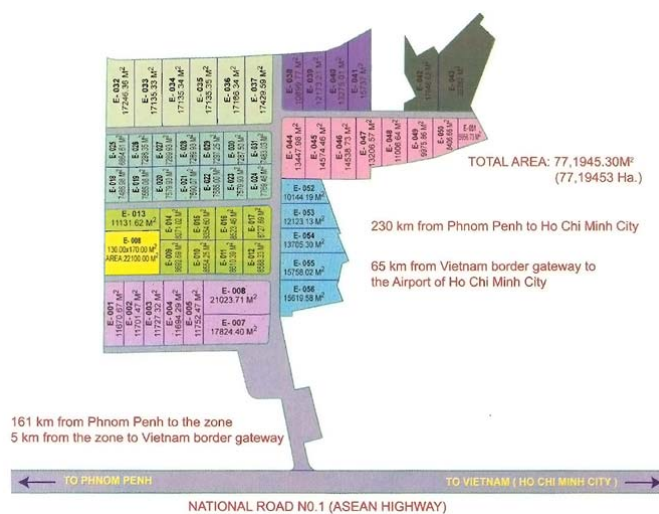
所在地	スヴァイリエン州
住所	Bavet Commune, Chantrea District, Svay Rieng Province
設立	2006年11月
主要都市からの距離	ベトナム国境（バベット）から6km、ベトナム・ホーチミン国際空港から65km、 プノンペンから160km
デベロッパー	Manhattan International Co., Ltd.（台湾資本）
電話番号/ FAX	+855 44715125 / +855 44715126
E-Mail	info@manhattansez.com
開発総面積	157ha
インフラ	
電力	公共送電線（ベトナム）からの供給/自家発電施設建設中 料金：USD0.1265/kwh
工業用水	地下水を利用/給水施設3ヶ所 料金：USD0.15/Ton
排水設備	汚水処理施設2ヶ所 料金：USD0.25/Ton
電話回線	1社（Metfone）
付帯施設	ガソリンスタンド・警察署・消防署・職員病院・カジノホテル・スーパーマーケット
管理費	USD0.04/m ² /月（+VAT）
借地料	USD25-30/m ² ：工業エリア、2ha以上、99年間の賃貸契約 ※2ha以下は10%増しの金額
レンタル工場	敷地：USD1/m ² 建物：USD2/m ² （建屋のみ）
税関手続き	経済特区内で通関手続きが可能（ワンストップサービス事務所あり）
進出企業	モロフジ（ポリエチレンショッピングバッグ製造）など21社



(出所) マンハッタン経済特別区ホームページ

②タイセン経済特別区

所在地	スヴァイリエン州
住所	Bavet District, Svay Rieng Province
設立	2006年
主要都市からの距離	プノンペンから南東へ161km、Moch Bai国境検問所から5km、ホーチミンから86km
デベロッパー	Tai Seng Bavet SEZ Co., Ltd.
電話番号/ FAX	+855 12 911 202, +855 888 668 688 / +855 23 990 188
E-Mail	enquiry@taiseng-sez.com siaofen1314@gmail.com
開発総面積	125ha
インフラ	フェンス、埋立、電気の引き入れ
電力	公共送電線からの供給。ベトナムとカンボジアから供給。(ベトナムからがメイン) 料金：USD0.1265/kwh
工業用水	地下水を利用(テナントが独自に整備する必要あり)
排水設備	なし
電話回線	ezecomが利用可能
管理費	USD0.04/m ² /月 (+VAT)
借地料	USD22/m ² (税別)：50年間のリース契約
レンタル工場	敷地：USD0.1/m ² 、工場：USD1.6/m ² 、オフィス：USD2.8/m ²
税関手続き	ワンストップサービス事務所はマンハッタンSEZの事務所を利用
進出企業	ヨークス(婦人手袋) スワニー(スポーツ用手袋) 中山商事(赤ちゃん用肌着) ロンチェスター(婦人服) ジャパーナ(スポーツ衣料) トーワ(紳士服) 家研販売(建具製造) 東京パーツ工業(コイルトランス) など13社



(出所) タイセン経済特別区ホームページ



③ドラゴンキング経済特別区

所在地	スヴァイリエン州
住所	
設立	2012年5月
主要都市からの距離	プノンベンから160km、ベトナム国境（ハベット）から12km、ホーチミンから92km
デベロッパー	Mrs. Ngov Mok
電話番号/ FAX	
E-Mail	
開発総面積	120 ha
インフラ	開発中
電力	公共送電線からの供給。ベトナムとカンボジアから供給。（ベトナムからがメイン）
工業用水	地下水を利用（テナントが独自に整備する必要あり）
排水設備	なし
電話回線	ezecomが利用可能
付帯施設	
管理費	USD0.04/m ² /月（+VAT）
借地料	USD25/m ² （税別）：50年間のリース契約
レンタル工場	建設計画あり
税関手続き	
進出企業	



（ワーカーの通勤の様子）

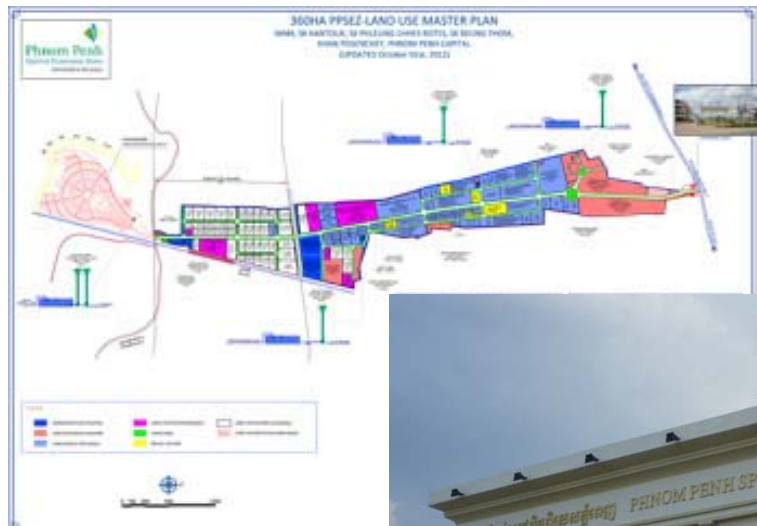


（帰宅ラッシュの様子：プノンベン中心部）

(2) プノンペン市

① プノンペン経済特別区

所在地	プノンペン市
住所	Khan Dangkao, Phnom Penh and Ang Snuol District, Kandal Province
設立	2006年4月
主要都市からの距離	プノンペン国際空港より約8km、プノンペン中心部より約18km
デベロッパー	Phnom Penh SEZ Co., Ltd.(林秋好:78%、ゼファー:22%)
電話番号/ FAX	+855 (0)23 729 798 / +855 (0)23 729 799
E-Mail	sales@ppsez.com
開発総面積	360 ha (第1期:141ha 第2期:162ha 第3期:57ha)
インフラ	フェンス、管理棟、入場門、電気、給水、通信システム、消防、救護施設完備
電力	公共送電線から供給、シンガポール資本と合弁会社Colben Energy PPSEZ Ltdを設立。能力(燃料は重油)13MW 料金:USD0.193/kwh(変動制に移行中)
工業用水	団地内浄水施設:最大供給能力5,300m ³ /日(第一期) 料金:USD0.30/m ³ (+10%VAT)
排水設備	団地内下水施設:処理能力4,500m ³ /日(第一期) 料金:処理代金USD0.26/m ³ (+10%VAT)
通信設備	固定電話サービス3社、インターネットサービス10社により提供
付帯施設	銀行、ドライポート、中華レストラン、ミニマート(日本食レストラン建築中)
管理費	インフラ維持管理費用:USD0.05/m ² /月(+VAT)、ゴミ収集費:USD80~300/月(+VAT)
借地料	USD55/m ² (土地の賃借契約は自動更新、転売も可)
レンタル工場	ドライポート内にレンタル工場あり(自社工場の建設まで入居する企業が利用)その他のレンタル工場は競争率高い 家賃は平均USD2.5/m ² /月
税関手続き	経済特区内で通関手続きが可能(ワンストップサービス事務所あり)
進出企業	味の素、住友電装、ミネベアなど日系企業26社を含む全48社(2012年9月時点)



(出所) プノンペン経済特別区

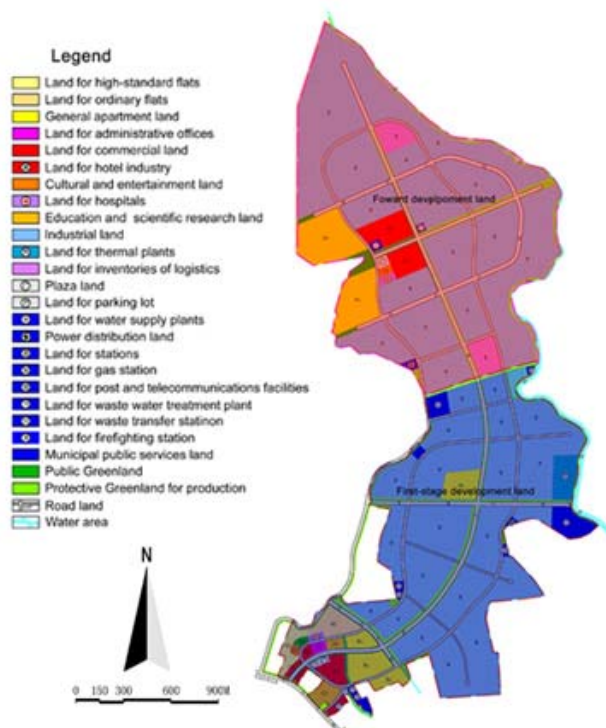
ホームページ



(3) シハヌークビル州

①シハヌークビル経済特別区

所在地	シハヌークビル州
住所	Stung Hav District, Preah Sihanouk Province
設立	2006年10月
主要都市からの距離	シハヌークビル港より12km、シアヌークビル空港より3km、プノンペンより210km
デベロッパー	Cambodia International Investment Development Group Co., Ltd. (中国資本)
電話番号/ FAX	+855 23726375 / +855 23726375
E-Mail	
開発総面積	11.13km ²
インフラ	フェンス、道路、管理棟、電気、給水、通信システムの建設
電力	公共送電線からの供給。2MWの自家発電あり。料金：USD0.25/kwh
工業用水	団地内排水設備：開発予定 料金：USD0.15/m ³ (+10%VAT)
排水設備	開発予定
電話回線	テレコムカンボジアが利用可能
付帯施設	
管理費	USD0.04/m ² /月 (+VAT)
借地料	USD28/m ² (+VAT)：50年間のリース契約 USD14/m ² (+VAT)：20年間のリース契約 USD7/m ² (+VAT)：10年間のリース契約
税関手続き	経済特区内で通関手続きが可能 (ワンストップサービス事務所あり)
レンタル工場	USD160/m ² /月 (+VAT)
進出企業	アスレ電器 (家電用ワイヤーハーネス製造) 泉電子国際有限公司 (薄型テレビ用アルミフレーム) 含む26社



(出所) シハヌークビル経済特別区ホームページ

②シハヌークビル港経済特別区

所在地	シハヌークビル州
住所	Tomnop Rolok Area, Sangkat Lek1 and Lek3, Sihanoukville City, Preah Sihanouk Province
設立	2009年9月
主要都市からの距離	シハヌークビル港に隣接。シハヌークビル空港から15km。 プノンペンから230km。シハヌークビル駅と接続予定。
デベロッパー	Port Authority of Sihanoukville (シハヌークビル港公社) [日本政府円借款による開発]
電話番号/ FAX	+855 34 933 511,416 / +855 34 933 739, 693
E-Mail	market@pas.gov.kh pas@camintel.com
開発総面積	70 ha
インフラ	開発中
電力	電源：国営電力会社 (EDC) の22 kV送電線 (構内に受配電設備を設置) 料金：USD0.28/kwh
工業用水	構内汲み上げ地下水 (2,000m ³ /日) 料金：USD0.3/m ³
排水設備	中処理設備 (2,000m ³ /日) 料金：USD0.35/m ³ (上水使用量の80%)
電話回線	Metfoneの利用が可能
付帯施設	コンテナ・フレイト・ステーション 経済特別区管理事務所 (銀行、郵便局、クリニック、研修施設など設置予定) メンテナンスオフィス (24時間体制のセキュリティ) 社員寮 (20戸)、社宅 (2棟、500名収容)
管理費	USD1/m ² /年
借地料	USD65/m ² ：50年間のリース契約 (借地総面積1ha以下) USD47.5/m ² ：25年以下のリース契約 (借地総面積1ha以下)
レンタル工場	2棟の建設計画あり (3,000m ² 、6,000m ²)
税関手続き	ワンストップサービス・ステーションあり
進出企業	王子ホールディングス

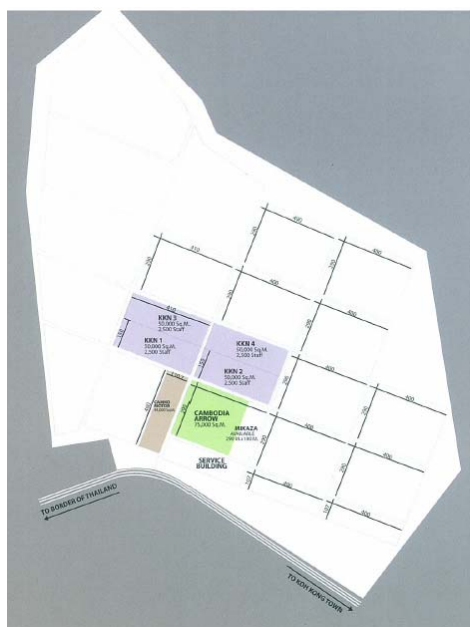


(出所) シハヌークビル港経済特別区パンフレット

(4) コッコン州

①コッコン経済特別区

所在地	コッコン州
住所	Neang Kok Village, Pakkhlong Commune, Mundul Seyma Destrict, Koh Kong Province
設立	2006年
主要都市からの距離	バンコクから470km、プノンペンから297km、シハヌークビル港から370km、レムチャバン港から370km
デベロッパー	L.Y.P Group Co.,Ltd
電話番号/FAX	+855-12-758-759 / +855-23-880-598
E-Mail	saroeum_ngeth@yahoo.com
開発総面積	335.43ha
インフラ	
電力	タイから電力供給を受ける（能力：12MW / 2013年には20MWまで引き上げ予定） 料金：THB6.5/kw
工業用水	5,000m ³ /日 料金：THB18/m ³ (+VAT)
排水設備	現時点ではなし
電話回線	テレコムカンボジアが利用可能
付帯施設	L.Y.P Group 開発のリゾートホテルあり
管理費	THB1.4/m ² /月
借地料	USD40/m ² ：99年間のリース契約 USD30/m ² ：70年間のリース契約 USD20/m ² ：20年間のリース契約
レンタル工場	USD1.58/m ² /月：30年間の契約 USD1.75/m ² /月：20年間の契約 USD2.00/m ² /月：10年間の契約
税関手続き	ワンストップサービス構築中
進出企業	矢崎総業（自動車用ワイヤーハーネス）ミカサ（スポーツ用ボール）カムモーター（自動車組み立て） など

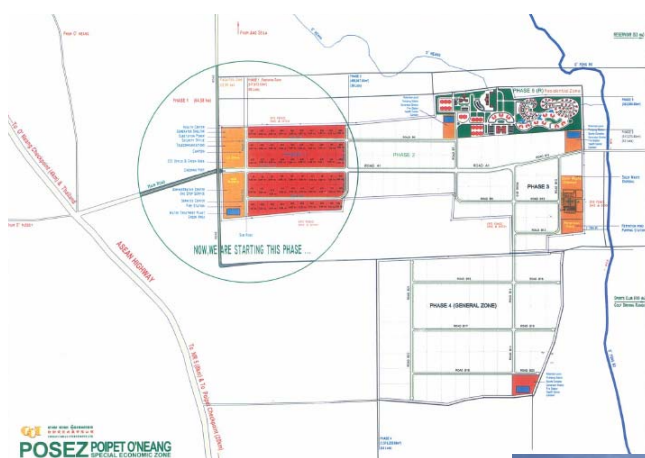


(出所) コッコン経済特別区パンフレット

(5) バンテイメンチェイ州

①ポイペト経済特別区

所在地	バンテイメンチェイ州
住所	Poipet Commune and Nimit Commune, O' Chhrov District, Banteay Meanchey Province
設立	2005年
主要都市からの距離	ポイペト国境から約10km レムチャバン港から250 km
デベロッパー	Chhay Chhay Investment Ltd
電話番号/ FAX	855-54-967-677
E-Mail	chhayppt@cci-posez.com
開発総面積	第1期：230ha（工業地域）、70ha（商業地域）、28ha（ドライポート） 第2期：155ha
インフラ	フェンス、入場門、電柱の設置完了
電力	タイから供給 料金：USD0.12/Kw
工業用水	料金：USD0.35/m ³
排水設備	
電話回線	Metfone が興味を示している
付帯施設	国境近辺には複数のカジノホテルあり
管理費	USD0.04/m ² /月
借地料	USD33/m ² ：70年間の貸借契約
レンタル工場	建設予定なし
税関手続き	ワンストップサービス施設を建設予定
進出企業	Campack Co.,Ltd（タイ） 1社



(出所) ポイペト経済特別区

パンフレット

